

# 日本からアメリカへ 実際に喜ばれた “ちょっと良い”日本のお土産

サンクスギビングが過ぎ、クリスマスの雰囲気がかかっている今日この頃。この年末年始に一時帰国を計画されている方も多いことと思います。アメリカはお土産文化が無いとは言いますが、日頃お世話になっている方に何か渡したいとお考えの方もいらっしゃるのではないでしょうか。今回は筆者の経験から、アメリカの方を中心に、一時帰国後に喜ばれた“ちょっと良い”日本のお土産を紹介いたします。

冒頭でも触れた通り、アメリカではお土産を贈るという風習は一般的ではないと聞きます。真偽のほどは定かではありませんが、背景を紐解くと、地方ならではのお土産があまりない事に加え、食習慣や信仰の多様性なども相まって食べ物を渡すという習慣が根付いていない、という説もあるそうです。他方、食べ物ではなく旅行先のキーホルダーやマグカップなどの「モノ」を渡すという習慣はあるとの話も耳にしました。そのような背景は承知していたものの、昨年我が家では、一時帰国後に娘の誕生日会を控えていたことから、参加くださるご家族やお力添えくださる先生方へのお礼も兼ねて、日本のお菓子を“small gift”として渡したいと考えた次第でした。

用意するにあたり心掛けたことは以下の4点です。

1. 個包装であること
2. 賞味期限が長いこと
3. アメリカの方にも馴染みのある原材料や食感であること
4. どのようなものであるか説明がしやすいこと

3点目および4点目については、誰も未知の食べ物には手を伸ばしづらいものです。また、万が一アレルギー食材が含まれていた場合、事前に知ることなく口にしてしまっただけでは大事に至りかねません。そのような理由から上記4点を念頭において選んで、実際に喜んでいただけた日本のお土産は以下です。

## 1. 鎌倉紅屋 クルミッ子

柔らかなキャラメルに胡桃がぎっしり詰め込まれ、クッキーでサンドされた一口サイズのお菓子です。公式通販および全国各地の百貨店で入手可能です。後を引く美味しさとサクサクの触感が大変好評でした。ただし材料に胡桃が含まれるので、お渡しする際はその点にご留意ください(※アメリカはナッツアレルギーの方が多くとされています)。

## 2. 鼓月 千寿せんべい

「せんべい」との名称ですが、実際は波型のクッキー生地、風味豊かなシュガークリームがサンドされた一品です。サクリした触感とクリームとの相性、和紙が織り込まれた個包装も好評でした。日本の古都、京都のお菓子であるというのもポイントかもしれません。こちらも公式通販および百貨店で入手可能です。

## 3. 志満秀 クアトロえびチーズ

薄焼きのカラフルな海老せんべいに、4種類のチーズクリームがサンドされた一品です。味の良さはもちろん見た目にも美しく喜ばれました。こちらも公式通販もしくは百貨店で入手可能です。ただ、非常に割れやすいため、取り扱いに注意いただくか多めに用意されることをお勧めします。

こうして選んだ品々を、当日はGoody Bagとして小分け袋に入れました。お渡しする直前まで、果たして喜んでいただけるだろうか、迷惑ではないだろうか、あるいは私の自己満足になってはいないだろうか・・・など様々な思いが脳裏を掠めました。しかし実際は、「思いがけないささやかな贈り物！」と皆さん喜んでくださり、お土産を話題に会話も弾み、親交を深める良いきっかけとなりました。実にアメリカらしいと思ったのは、その場で開封し早速試してくださる方が大半であったこと。どなたも、「日本のお菓子はこんなに美味しいのか！」と驚き絶賛くださいました。子どもたちへのGoody Bagには、日本製の柔らかい食感のグミや折り紙で作った手裏剣も忍ばせてありましたが、お友達やそのご家族、先生方に喜んでいただけた事を通じて娘が嬉しそうにしていた事が、私にとっては何より深く心に刻まれています。



なお、今回紹介したお土産以外にも、石屋製菓の白い恋人や、ポテトファーム(カルビー)のじゃがポックル、ヨックモックのシガールなどは、空港でも入手しやすくアメリカでの人気も非常に高いと聞きます。また、お菓子ではありませんが、花王のめぐりズム 蒸気でホットアイマスクを数名のアメリカ人の友人へ配ったところ、これも大変喜ばれました。

お土産が親交を深めるきっかけとなり、わずかながら日本を知ってもらえる事に繋がるのは、とても嬉しいものです。皆さんの周りでも、このお土産が喜んでいただけた！コミュニケーションの一助となった！などの体験談がありましたら、是非ガルフストリーム編集委員までお寄せください。

(編集委員 井上彩乃)

